

兄弟で親元就農し法人化

埼玉・深谷市 木口貴大さん、智大さん

イチゴ・露地野菜、経営を継承

【埼玉】世代交代を契機に、個人経営体が法人化を進めるケースが増えている。深谷市でイチゴや露地野菜を栽培する木口農園もその一つだ。

2021年9月に兄・貴大さん（28）と弟・智大さん（26）が親元就農し、規模拡大や直売への販路転換を行うなか、経営継承と同時に法人化を決めた。県農業経営相談所で重点指導農業者の認定を受け、インボイス制度に対応できるよう23年8月に（株）木口農園（木口貴大代表取締役）を設立した。

法人への資産移管は当



面行わず、父・正彦さんの名義のまま法人に貸し付けている。施設などの

減価償却資産は償却が進み、簿価が小さくなった段階で法人に売却する予定だという。

栽培技術や経営ノウハウといった無形資産は、正彦さんが役員に入ることと継承されている。イチゴは県育成品種「あまりん」の導入や、育苗方法・土壌環境の改善を図るなど努力を重ねる。

貴大さんは「ネットでのお客さまのおいしいという声を引っさげ、都内のデパートに売り込みたい」と目標を語った。

親元就農した貴大さん（左）と智大さん